

幸消防団だより

第61号

平成30年2月発行

川崎市幸消防団

団長 高橋 克明

広報委員会編集



新春の挨拶

幸消防団 団長 高橋 克明



新年明けましておめでとうございます。

団員の皆様には、平素から実践的な訓練を重ねて地域の消防活動の推進に取り組まれるとともに、団運営に御協力をいただきまして深く感謝申し上げます。

1月7日に举行されました幸地区消防出初式は、「育てよう 防火意識と 地域の輪」をテーマに掲げ、「自分たちのまちは自分たちで守る」ことを基本に、各関係機関との相互連携や支援を強化することで、災害時に助け合える体制を構築しようとするものです。近年、かつて経験したことのない豪雨や超大型台風の襲来など、地球環境の変化に伴う大規模自然災害の発生が危惧されており、我々防災機関に寄せられる期待はますます高まっております。

そのような中、全国的な課題となっております消防団員確保対策としまして、昨年に続き、市民や企業の皆様に対して、消防団活動について御理解と御協力をいただけるよう広報活動を強化するとともに、女性消防団員の活躍を披露するなど、魅力ある消防団を目指してまいりますので、団員の皆様のお力添えをお願い申し上げます。

結びに、皆様の一層の御活躍と御健勝を祈念しまして、年頭の挨拶といたします。



輝かしい新年を迎えて

幸消防署 署長 高橋 俊勝



希望にあふれる平成30年の新春を迎え、心よりお喜びを申し上げます。

団員の皆様、御家族の皆様には、平素から献身的な御活躍と御苦勞に対しまして、厚く御礼申し上げます。

新春恒例であります、幸地区消防出初式の開催にあたりましては、団員皆様の御協力をいただきまして、御臨席された来賓と区民の皆様にご満足なく消防力を披露することができ、誠に素晴らしい式典となりました。

さて、昨年の国内における災害を振り返りますと、2月に埼玉県で発生した倉庫火災では、発生から鎮火まで12日間を要する大規模な火災となり、困難を極める消火活動を目の当たりにして、改めて防火対策の重要性を認識させられたところでした。また、7月の九州北部豪雨では、死者40名、行方不明者3名が発生するなど、甚大な被害が発生し、また、10月の超大型の台風21号では、西日本から東日本、東北地方の広い範囲で大雨となり、各地で河川の氾濫や浸水害、土砂災害等が発生し、多摩川でも氾濫危険水位を超えたことは記憶に新しいところです。私たち、消防職員、消防団員は地域に密着した防災機関として、区民の皆様の安全・安心の確保のため、総力を挙げて邁進する決意でございます。

結びになりますが、幸消防団の益々の発展と、皆様の御健勝と御多幸、そして今年は災害の無い年でありますよう祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。



第 1 分 団

第一分団 新年の抱負

第一分団は、南河原地区を担当しております。今年中には川崎駅北口を結ぶ自由通路や、西口のペDESTリアンデッキも完成し、さらに活気のある町へと変貌するでしょう。たくさんの方々が集まるのは喜ばしいのですが、いざ災害が起こった際には多岐にわたる対応が必要となり身が引き締まる思いです。

今年も地域のために頑張ります。



第 2 分 団

第二分団 新年の抱負

新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。昨年も災害の多い年となり、被害に遭われた皆様と御関係の皆様へ心よりお見舞い申し上げます。第二分団では、火災とその予防のみならず、自然災害などの有事を想定した訓練にも力を入れ、全団員が一丸となって災害への対応力の強化へ尽力していく所存でございます。

今後とも郷土愛護の精神のもと、地域の防火・防災に努めてまいりますので、本年も第二分団の活動に対する御理解と御協力を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

消防団 三原則

- 一、隣保共助
- 一、郷土愛護
- 一、犠牲奉公



本 団

新年の抱負



第 3 分 団

第三分団 新年の抱負

新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎えて本年が平穏な年でありますよう、心から祈っております。

昨年、分団に新たに三名の団員が入団し消防活動をする事になりました。全団員で力を合わせ火災、そして自然災害に対峙するため、日々訓練に精進し地域住民の「安全」「安心」を守るという意気込みで消防活動を行ってまいります。

皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。



第 4 分 団

第四分団 新年の抱負

新年明けましておめでとうございます。新年を向かえ、我々が第四分団は地域の付託に応える為「きて、みて、ふれて、消防団」を合言葉に、まずは活動体験を通じて団員募集を推進していきます。又地域の「防火・防災の寺子屋」と「共助」を合言葉にホースキットの放水体験応急手当の指導等を通じて地域の防災力とのコラボを目指します。

最後に全団員と家族のご健康、ご多幸を祈念して抱負とさせていただきます。

平成30年幸地区消防出初式

平成30年1月7日(日)に河原町体育館及びグラウンドにおいて、幸地区消防出初式が盛大に挙行されました。今年の出初式は、式典を体育館で執り行った後、分列行進や消防演技、一斉放水をグラウンドで披露する2部構成で実施されました。式典や演技の合間には、川崎キッズチアリーディングクラブBAMBIES【バンビーズ】(約50名)や川崎こまどり幼稚園鼓笛隊(約190名)が、平成30年の門出を盛大に盛り上げてくれました!



消防演技は、首都直下地震が発生し、老人福祉施設に建物の倒壊危険があるという想定で実施しました。

幸消防団機動部隊による障害物の除去や消防団員による多数傷病者のトリアージ等を消防署部隊と連携・協力することで、被害を最小限にとどめる活動ができました。

「育てよう 防火意識と 地域の輪」

(平成30年川崎市消防出初式統一標語)

受章おめでとうございます!

【神奈川県知事表彰】

●永年勤続功労消防団員 (20年)

第1分団 団員 服部 一延	団員 宇井 崇
第4分団 班長 小林 昭	班長 佐藤 一晃

【川崎市長表彰】

●永年勤続功労消防団員 (15年)

第1分団 団員 八木橋 康	
第2分団 班長 安達 靖彦	班長 桑畑 典子
班長 大貫 稔也	団員 森 里美
団員 荒井 光徳	団員 吉岡 徹
第3分団 班長 大村 幸市	

●優秀消防分団

第1分団 第4分団

●退職消防団員功労者表彰

前 第3分団副分団長
新井 敏浩 様



団長表彰を受賞する竹生班長

平成29年

秋の褒章

受章おめでとう

ございます!!

第4分団 分団長

村石 勉 様



【消防団長表彰】

●優良消防団員

第1分団 団員 床枝 勝幸
第2分団 団員 笹崎 美雪
第3分団 団員 尾畑 佳宏
第4分団 班長 竹生 恵美子

●優良消防団員家族

第4分団 村石分団長 夫人
村石 文子 様

●優良消防分団

第3分団

新入団員紹介



第一分団 佐々木 岳洋(たけひろ)
昨年末より消防団に入団しました。消防団の活動を通して、少しでも地域に貢献できるようなと思っています。また今年はいイベントに出来るだけ参加しますので、よろしくお願いします。

第二分団 佐々木 真弓
日々一つ一つを学び、一日でも早く地域の役に立てるように取り組んでまいります。消防団の一員として、誇りと自覚を持って成長していきたいと思っています。

第二分団 内山 正樹
消防団活動を通して、地域社会に貢献したいという思いで入団しました。日々の訓練に懸命に取り組み、地域を守るための力を一日でも早く身につけたいと思います。

第三分団 須賀澤 加寿菜(かずな)
川崎に越えてきてちょうど十年になります。今までは地域の方々にお世話になるばかりだったので、今度は消防団の活動を通じて、地域に貢献できればと思っています。よろしくお願いします。

第四分団 伊藤 一威(もとい)
訓練やイベントに積極的に参加します。講習等にも参加し、自分自身のスキルアップを目指し、いざという時に瞬時に対応できるように消防団員になりたいです。

平成29年度 幸消防団活動状況(主なもの)

平成29年

- 4月 4日 春の全国交通安全運動に伴う消防団員募集及び火災予防広報活動
- 16日 ポンプ性能検査
- 5月 14日 第45回幸消防団ポンプ操法大会
- 6月 3日 水防訓練
- 4日 幸消防団幹部県外視察(6日まで)
- 7月 9日 警防技術基礎訓練
- 8月 23日 備えるフェスタ2017
- 9月 9日 幸区秋の総合防災訓練(御幸小学校)
- 10日 新入団員研修
- 13日 消防団幹部視察研修(東京税関成田支署)
- 10月 7日 幸区民祭警備及び広報活動
- 8日 同上
- 25日 かながわ消防フェア2017(横須賀市)
- 11月 9日 幸消防フェア(ラゾーナ川崎)
- 26日 遠距離中継送水合同訓練(消防署と実施)
- 12月 31日 年末火災特別警備

平成30年

- 1月 7日 幸地区消防出初式及び各分団出初式
- 24日 文化財防火デー訓練(稱名寺)



↑幸区秋の総合防災訓練



↑消防団幹部視察研修(税関)



↑遠距離中継送水合同訓練



→文化財防火デー訓練(稱名寺)



→年末特別警備督励

編集後記

幸消防団だより六十一号をお届けします。
発行に当り、関係各位のご寄稿に深く感謝致します。

発行責任者 高橋 克明

編集 幸消防団広報委員会

広報部長 松井

第一分団 生方

第二分団 坂村

第三分団 鈴木

第四分団 菅原

青木

菅原

三原

遠藤

鈴木

坂井

生方

松井

高橋

克明

消防団員募集

幸消防団では新規団員を募集しています。

資格 幸区内在住、在勤の満18歳以上の健康な人

- ・特別職の公務員として活動中の負傷などは公務災害として補償されます。
- ・班長以上の階級に3年以上在職した団員は防火管理者の資格を得ることができます。

問合せ先 幸消防署予防課 TEL: 044-511-0119

FAX: 044-544-0119